

第7回 伊良湖岬中学校統合準備委員会 会議録

日時	平成31年3月14日（木）16時20分～16時45分
場所	伊良湖岬中学校 会議室
出席者	<p>委員（19名） 小久保正吾、木邨龍雄、齋藤末広、高瀬哲二、藤井崇文、夏目由香子、小久保秀人、藤井元大、山本充宏、渡會裕美、齋藤大介、中村昌博、山本五夫、福田佳子、井本知宏、大藤 誠、清田大治、本多潤一、久瀬正弘</p> <p>事務局（10名） 花井教育長、宮川教育部長、伊藤教育総務課長、杉田学校教育課長、永井地域課長、矢野学校教育課指導主事、小久保教育総務課課長補佐兼係長、彦坂教育総務課主査、藤井教育総務課技師</p>
欠席者	真野多正委員、中尾利之委員、中川初志委員、渡邊裕香委員、田中啓介委員、渡邊宏光委員、小林琢委員、森下正敏委員
	《開会》
事務局	<p>ただいまから第7回伊良湖岬中学校統合準備委員会を始めさせていただきます。 この会議は公開としておりますので、よろしくお願いいたします。 それでは、ここからの議事の取り回しにつきましては、小久保委員長にお願いいたします。 よろしくお願いします。</p>
委員長	<p>先程は、閉校記念式典ありがとうございました。おかげさまで、無事終わることができました。本当にありがとうございました。 それでは、会議の進行をさせていただきます。円滑な議事進行にみなさまのご協力をお願いいたします。 今回が統合準備委員会としての最後の委員会となります。 それでは、まず事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>委員長からもございましたが、平成28年11月29日に設置され、約2年半にわたりまして、子どもたちにとって、よりよい学校の実現にむけまして、様々な内容や事柄について話し合いを進めてまいりました、この統合準備委員会も、今回の第7回をもって最後となります。 この2年半で協議・決定した事項につきましては数多くございますが、事務局といたしましては、各部会での協議や学校間での事前調整がなければ、統合という大きな問題に対し、なかなかよりよい方向に進んでいかないことも痛感いたしました。 しかし、みなさま方のご協力のおかげを持ちまして、とくに、部活動や制服、体操服などの両校とPTAなどとの調整。さらにはスクールバスの運行ルートやバス停の位置、歴史や同窓会などの調整などを無事に終えることができました。 統合準備委員会は本日で終了となりますが、新たに4月からコミュニティスクールとして出発する福江中学校には、引き続き「地域とともにある学校」を目指し、地域の声を積極的に生かした「地域と一体型の特色ある学校」にしていきたいと思います。</p>

	<p>と思います。</p> <p>委員のみなさま方におかれましては、長きにわたりお付き合いいただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、今回最後となりますので、各部会長さんから一言ずついただきたいと思います。</p> <p>では、まず通学体制部会長からお願いいたします。</p>
通学体制部会長	<p>本日の式典はとても感動しまして、私も岬中学校の卒業生ですので、すごく感動しました。生徒たちも本当に素晴らしい学校だなあと思いました。ここに来るまでには、いろんな努力があってこそということで、盛大な式典ができたんだと思います。本当に、学校がなくなるのはさみしいですけれども、また新しく今度は福江中学校へ行くことになると、いろんな面で新しい課題がいろいろ出てくると思います。でも、みんなの力がまた良い方向へ動いていき、これからの全てのことについて力になっていくと思います。本当に今日はありがとうございました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、地域部会長お願いいたします。</p>
地域部会長	<p>本日は、閉校記念式典を無事終わることができました。本当にありがとうございました。椅子を後ろに300席近く用意させていただきましたが、うまっておりまして、生徒にとっても、地域の方にとっても、いいものができたのかなとそんなふうにも思っております。今までみなさんにいろいろとご協力いただいて、ここまでたどり着くことができたことも深く感謝したいと思います。ありがとうございます。</p> <p>あと、実はまだ細かい所がいろいろと残っておりまして、将来的に岬中の校旗、卒業アルバム、昭和25、6年からある文集わかたかなど、そういったもろもろのものをどこか、今まで閉校してきた学校のものが一堂に会する、そういう施設ができるといいなと。野田中跡がふるさと教育センターになりますので、そのところに少し考えていただくと、本校としても、伊良湖岬地区としてもありがたいなと思っておりますので、ぜひこれについては考えていただきたいなと。それまでは、どういうふうにするのかというのはまだ、つめている最中ではありますが、そういうところもお願いできたらなというふうに思っております。</p> <p>あと、できましたら、2年後に泉中学校の方が赤羽根中学校と統合します。私はここへきて、2年経ちますが、この2年間いろんな方に助けられてここまで来たわけですが、福江中学校の久瀬校長先生とも相談をしながら、手探りの中でずっとここまでできました。やはり細かい所は、落ちがいっぱいあります。ぜひここで最後であるならば、何年の何月頃までに、このことを決めてというようなタイムスケジュールをしっかりとまとめとして、つくっていただけると、あと2年泉中学校が私どもと同じように右往左往せずに済むのではないかなと。また泉中学校の伝統と歴史を残すためにも、また、進めていくうえでいろんな細かいことがありまして、でき</p>

	<p>ましたらそういうことをすべてまとめて、次の泉中学、あと2年しかありませんので、その2年で泉中学校と赤羽根中学校がスムーズに統合ができ、最後私たちがこんなにあせっているような状況にならないような、そんな状況をつくっていただけるとありがたいと思いますので。それは部会長というよりも、伊良湖岬中学校の校長として要望したいなというふうに思っております。</p> <p>本当に2年間ありがとうございました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に教育課程部会長お願いいたします。</p>
教育課程部会長	<p>今日は素晴らしい式典をありがとうございました。一つの学校が閉校するという重みを痛感しております。そして、小久保委員長さんから福江中学校のことを言っていただきました、今後統合して生徒たちが、これは伊良湖岬中学校の卒業生、在校生だけではなくて、福江中学校の卒業生、在校生を含めて、子どもたちの幸せにつながらないと統合の意味がないと思っております。そのために、自分が一番最初からこの会に参加させていただいておりますが、なるべくフラットに考えるようにしてきたつもりです。ただ、福江中学校の校長でありますので、福江中寄りではないかなと思われた面もあるかもしれません。自分ではそういうつもりはないつもりでやってきました。今後もそのつもりでいきます。ただ学校は福江中学校に置かれて、福江中学校の名前で進むという中では、やはり変えられない部分もあります。変えていかなければいけない部分もあります。自分はその中で、やはり一番最初に考えるのは、先ほども言わせていただいた、両校の生徒の幸せです。これを一番に考えていきたいと思っております。</p> <p>実は別のタイミングで、新学習指導要領というのが変わってきてまして、1年早く小学校が変わりまして、次年度からは中学校が変わっていきます。これは21世紀を、先を見据えた人間の育成となります。大学入試も変わります。そこに対応するための授業づくりも始まっていきますので、先を見据えた変更、それと統合での変更、これを同時進行で行っていきます。今、教務主任等も1年半くらいいろいろと考えております。なかなか結論がでない部分もありますが、これは専門職としてきちんと責任を持ってやらせていただきたいと思っております。</p> <p>それから、教育課程部会の中でやはり自分としていろいろと思っているのは、行事、とくに修学旅行を5月にやらせていただきたいということで、実は伊良湖岬中学校のPTAの方からも秋にしてくれないかという声が当初ありました。なかなか秋にできないという学校の事情もありまして、なんとか2年間交流活動を続けて、人間関係を深め、そして、5月半ばの修学旅行に3年生が人間関係をつくった上で、思い出深い修学旅行をつくりたいということで、市の当局の協力も得まして、1泊2日の宿泊体験にまず行かせていただいて、そこでのお金を出していただけることになりました。その内容の充実のために今2年生が中心に考えております。この1泊2日を有意義に使って、そして、思い出深い修学旅行をと思っています。来年の5月の修学旅行、これが、統合をした苦しみもある一方で、こんない修学旅行が</p>

	<p>できたなっというようにしたいと考えております。</p> <p>それから制服です。実はジャージは統合のタイミングではなかったんですが、ちょうど統合のようなタイミングでジャージをかえるようになったので、そんな感じがしますが、胸のマークは「わかたか」をなんとか採用していただいておりますが、制服については、統合の象徴として採用させていただきました。これは福江中学校72年の歴史があと半月で終わるんですが、また同じ名前ですが、1年目の福江中学校として入学式に、これは当然福江中学校の今の制服、伊良湖岬中学校の今の制服もOKとしてありますので、全員ではないと思いますが、新しい制服の1年生が入ってきます。そして今「きりり福中」という合言葉をつくっておりますが、これも新しいものをつくって、入学式の日にはそれを披露して新しいスタートをしたいと思います。今学校も正門あたりを改築しておりますし、校舎も塗装が終わりまして、デザインが赤い線の入った新しい校舎に変わっております。先程も言いましたが、位置も名前も変わらないですが、中身は生徒の気持ち、教職員の気持ちも一丸となって、新しい中学校をつくっていきたいと思います。今後大きな勝負が始まりますので、コミュニティスクール、これは東三河で一番だと思いますが、ぜひ、このコミュニティスクールの機能を充分果たして、この統合準備委員会で話し合ったことがきちっと受け継がれているかどうか、みていただいて、何かあれば意見をいただきながら学校づくりをすすめていきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。本当に2年間お世話になりました。ありがとうございました。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>PTA部会長は本日は欠席とのことですので、その他、委員さんから全体を通して何かご意見ありましたらお願ひしたいと思います。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは、最後に教育長から挨拶をいただきたいと思います。</p> <p>花井教育長お願ひします。</p>
<p>教育長</p>	<p>みなさん、こんにちは。伊良湖岬中学校統合準備委員会の第7回ということで、本日はひとまずの締めということなんですが、実は私4年前に教育長になったときに、最初の仕事が伊良湖岬小学校の開校ということで入学式を行いました。開校式並びに入学式というかたちで行いまして、本日4年目の終わりに、伊良湖岬中学校の開校式が良い天気とみなさまに囲まれて、先ほど風船とともに学校が閉じて、さみしくもあり、悲しくもあるんですが、やはり希望の風船であったかなというふうに感じております。4年前に、自分自身教育長になったときに、本心とするとえらい時になったなど。その時に一番の話題が伊良湖岬小学校は統合して始まっているけど、中学校はどうするかと。赤羽根へ行くかとか、福江へ行くかという事で、いろいろな声が耳に届く中で、最後の決め手はやはり子どもたちの声であったかなというふうに思います。アンケートの結果で福江中学校へとなる中で、当初より1年遅れてしまった。これがどういう意味があったかということ、それぞれみなさんの中で遅れたのがよかったのか、それとも予定通りやったのがよかったのか、自分自</p>

	<p>身いつも正解はないということで、できるだけみんなの声を聞く中で、一番いいところへということ、小中学校で2回も学校が変わるなんていうことはあり得ないではないかなという声もきく中で、今こうやってまとまることになって、新たなスタートがきれるかなというふうに思います。ある意味、平成が終わる中で、いいかたちで、福江中学校コミュニティスクールとして、新たな出発をするところに、伊良湖岬中学校の子たちが加わって、早く仲良くなって、それぞれが一緒になってよかったというふうに思ってもらえることが一番いいなあと感じております。バスに乗って通うという通学面での大変さもありますが、福江中学校の子も部活動ではバスに乗って総体に行ったりとか、いろんな活動ができますので、今までの福江中学校よりも、伊良湖岬の子が加わることによって、さらにダイナミックな展開ができる福江中学校になっていくのではないかなと。さきほどの校長先生のお話のように、修学旅行なども5月にやる意味があるということで、子どもを通してそれぞれ伝わるかなと思います。ぜひ、いろいろなものが、それぞれの協力によって、いい形で膨らんでいくといいかなと期待をしております。そういう意味では、岬地区の方には教育委員会のほうから統合の話があって、いろいろ動揺した部分があるかなと思いますが、やはりみなさんの熱い気持ち、心意気によってこうやってまとまって、いいスタートがきれるのではないかなというふうに思います。とりわけ統合準備委員会のみなさんには、夜7時という疲れた中、会議でいろいろお話をさせていただき、それぞれの部会でもしっかりやっていただきました。清田校長先生がおっしゃられたように、いろいろな面で短い期間の中で大変だったかと思いますが、それぞれのみなさんの格別なるご理解とご協力、そして心配りに感謝いたしまして、言い尽くせませんが、統合準備委員会を閉じる言葉といたしたいと思います。2年半にわたって、本当にありがとうございました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。 事務局から連絡事項がありますか。</p>
事務局	<p>1点すみません。伊良湖岬中学校ですが、今後この跡地に新しく伊良湖岬小学校を建設するために、4月中旬ごろを目途に解体工事が始まり、今年の秋口頃から新校舎の建設に入っております。2年後の平成33年3月には完成をさせ、その年の2学期から引っ越して開設という予定になっております。</p> <p>地域のみなさまには、工事期間中大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力のほどよろしく願いいたします。事務局からは以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。 その他何かご意見ありますか。</p>
委員	<p>すみません。統合準備委員会、教育課程部会のほうになるんですが、資源回収を福江中学は11月に、伊良湖岬中学は毎年5月に行っているということで、2回できるか検討してきましたが、5月23日に伊良湖岬小学校区の資源回収はやらせていただきます。やるのは、伊良湖岬小学校区の生徒と全区域のPTA、それから全職員。秋のほうは、現福江中学校区のほうの資源回収をやらせていただきまして、</p>

	<p>そこは現福江中学校区の生徒と全区域のPTAと全職員でやらさせていただきます。それぞれ1回ずつ中学生は午後から家庭学習になってしまいますが、2時間程度の家庭学習になりますので、そこはご容赦いただきたいと思います。この二つのものを有意義に進めていきたいと思います。ただ、これにつきましては、やり方等まだ今後の改正の余地がありますので、今後やっていきながら、コミュニティスクールの中でも議論していきたいと思います。まずは、来年度はこの2回でやらさせていただきますいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>すみません。よろしいですか。22日の来週の金曜日での修了式をもって伊良湖岬中学校の生徒は活動は終わります。春休みは福江中学校にご無理を言いまして、部活動のほうは、月、火、水と3日間バスを出していただきまして、福江中学校へ通うという形をとらせていただきます。</p> <p>今日の式典までのことについてですが、いろんな行事をテーマで撮っていただいております。特集のような形で10分か15分の番組になると思いますが、24、5日の後、何回か放送されますので、よろしかったらみていただきたいなと思います。どうもありがとうございました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。その他何かご意見ありますか。</p> <p>よろしいですか。ないようですので、以上を持ちまして、長期にわたり協議、検討をすすめてまいりました伊良湖岬中学校統合準備委員会を終了いたします。</p> <p>4月からは、福江中学校コミュニティスクールへと引き継いでまいります。コミュニティスクールのほうも自分も2年間くらい、会等に出席させていただきましたが、これからどういうふうに具体的にコーディネーターをおいて、ボランティアをどういうふうにやっていくかということはあるかと思いますが、4月からスタートしていきますので、自分はこの役は終わりますが、できることはできる範囲で、何でも協力していきたいというふうに思っております。</p> <p>みなさま大変お疲れ様でした。</p>
	<p>《閉会》</p>